

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引
Nissan Ambition 2030	CEOメッセージ	CSOメッセージ	取締役会議長メッセージ	ルノー・日産自動車・三菱自動車による アライアンス	日産のサステナビリティ

## CEOメッセージ

サステナビリティは事業運営の中核をなすものであり、お客さま、従業員、そしてパートナーの皆さまから信頼いただくうえで、欠かすことができないものです。日産はステークホルダーの皆さまに長期的な価値を提供するため、さまざまな取り組みを推進しています。

日産は「人々の生活を豊かに。イノベーションをドライブし続ける。」というコーポレートパーパスを掲げ、温室効果ガスの削減や自動運転技術の採用拡大、安全性の向上などに取り組み、社会課題の解決に寄与する商品や技術、サービスを提供することで、より持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

また、日産は「他がやらぬことを、やる」という創業以来の精神で、真に持続可能な企業になることを目指しています。現在、事業構造改革「Nissan NEXT」を着実に進捗させることで事業基盤を強化していますが、この考え方は、その先の長期ビジョン「Nissan Ambition 2030」にも貫かれています。このビジョンを具現化するため、多様な取り組みを通じて、よりクリーンで、安全で、インクルーシブな世界を実現していきます。



Together we empower  
mobility and beyond

日産自動車株式会社  
取締役、代表執行役社長兼CEO

内田誠

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引
Nissan Ambition 2030	CEOメッセージ	CSOメッセージ	取締役会議長メッセージ	ルノー・日産自動車・三菱自動車によるアライアンス	日産のサステナビリティ

そして、2050年度までに事業活動を含むクルマのライフサイクル全体でカーボンニュートラルを実現するため、全力を尽くしていきます。この目標は、中期環境行動計画「ニッサン・グリーンプログラム」を通じて、過去10年以上にわたり取り組んできた温室効果ガスの削減活動や電動化技術の開発などに基づいたものです。

気候変動は世界中の企業が直面している最も重大な課題の1つです。日産はカーボンニュートラルの実現に向け、電動化を「Nissan Ambition 2030」の中心に据え、2030年代早期までに主要市場に投入する新型車をすべて電動車両とすることを目指しています。また、それと並行して、安全性をさらに高めるため、知能化技術を向上させ、日産車がかかわる交通事故による死者数を実質ゼロにする「ゼロ・フェイタリティ」の実現にも取り組んでいます。

その一環として、緊急回避性能を大きく改善する次世代LiDAR技術を使った新たな運転支援技術を発表しました。この技術は2020年代の半ばまでに開発を完了させ、順次新型車へ搭載し、2030年度までにほぼすべての新型車に搭載することを目指しています。また、運転支援技術「プロパイロット」は、2026年までに250万台を超えるニッサンおよびインフィニティモデルに搭載していく予定です。

しかし、持続可能な社会は単独で実現できるものではありません。日産はサステナビリティ戦略を強化するためにアライアンスを活用し、パートナーであるルノーや三菱自動車と、電動化技術や車両のアーキテクチャ、ベストプラクティスを共有することで各社の価値を最大化しています。さらに、目標達成に向け、世界中の革新的な企業、政府、パートナーとも連携し、新たな戦略を模索していきます。

また、会社にとって最大の財産である従業員についても、一人ひとりが能力を最大限発揮できるよう、ともに励まし、助け合うことができる職場環境をつくることを目指しています。企業文化を改革するには時間がかかりますが、従業員から高く評価される組織をつくることは、日産の将来にとって大変重要です。

多様性は日産の競争力の源泉であり、最大の強みでもあります。そのため、それが生かせるインクルーシブな職場づくりに、優先順位を上げて取り組んでいます。また、「日産の人権尊重に関する基本方針」では、人権侵害を一切容認しないという方針を定め、グローバルに展開する事業全体のサプライチェーンにおいて、そのリスクを軽減するための積極的な取り組みを続けています。今後も日産は、従業員一人ひとりの可能性を広げ、自由に意見を交わしながら、互いの考えを尊重し合うことのできる企業文化を築き、会社の持続可能な成長へとつなげていきます。

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引
Nissan Ambition 2030	CEOメッセージ	CSOメッセージ	取締役会議長メッセージ	ルノー・日産自動車・三菱自動車によるアライアンス	日産のサステナビリティ

このような企業文化を改革するための取り組みに加え、サプライチェーンにおける供給不足の問題やエネルギーコストの上昇など、業界全体に大きな逆風が吹く事業環境においても、サステナビリティを重視し、すべてのステークホルダーと対話を続けていきます。そして、2004年に署名した国連グローバルコンパクトへの参画や、国連のビジネスと人権に関する指導原則(UNGPs)に則った事業運営など、日産はさまざまな活動をさらに強化していきます。

私はCEOとして、今後もサステナビリティの課題に真摯に取り組んでいくことを約束します。こうした取り組みを推進し続けることで、日産はお客さまや社会、そして地球環境に大きく貢献できると確信しています。

